

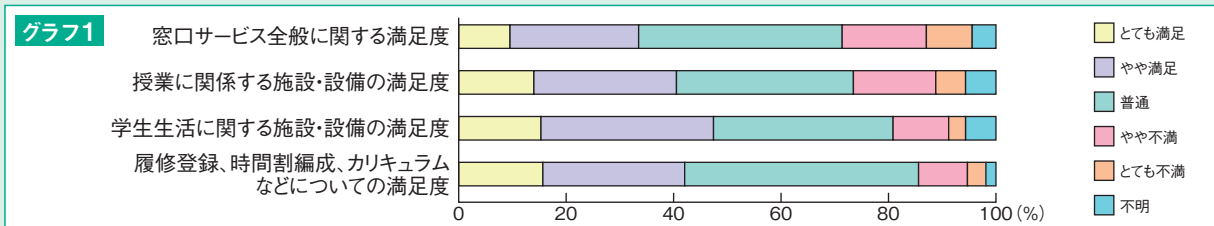
2007年度 「学生による教育環境改善のためのアンケート」実施報告

【実施日程・調査方法】 07年度「学生による教育環境改善のためのアンケート」は、学部生については「学生による授業評価アンケート」とともに最終授業日(12月18～21日、1月7日)の指定クラスにて教員から学生に直接配付され、指定クラスを履修していない学生や欠席者などに対しては自宅宛に送付されました。回収については、指定クラスの学生代表者がアンケートを集め、一括して窓口へ提出する方式がとられ、その他は従来通り、学内投函箱へ提出、または郵送により提出する方法がとられました。また大学院生についても同様に配布・回収を行いました。

アンケートは4つの設問に対し、満足度を「①とても満足 ②やや満足 ③普通 ④やや不満 ⑤とても不満」の5段階として集計しました。また設問ごとに自由記述欄を設けました。

このアンケートは、自由記述を中心として学生・院生の皆さんから、意見を広く集めることを重視しました。

【集計について】 アンケート結果の満足度については、学部・大学院それぞれ所属別・学年別に集計を行いました。その結果、学部・大学院の学生を合わせて8,501名を対象に、2,722件のデータを回収することができました(回収率:約32.0%)。それぞれ全体の満足度は**グラフ1**の通りですが、詳細については自己点検・評価活動のホームページをご覧ください。自由記述については、全てタイプ打ちし、個人を特定できないようにした資料を作成しました。自由記述の内容については「授業評価アンケート」同様、個別の公表は行いませんが「フィードバックコメント」という形で大学からの回答をホームページに掲載いたします。



【今後について】 今後は「事務局自己点検評価委員会」を中心に、アンケート結果に基づく問題点の抽出、検討および改善実施に取り組むことを予定しています。なお、活動状況・改善報告等につきましては、フィードバックコメントのなかで回答するとともに、適宜、大学ニュースやホームページにて報告いたします。

【フィードバックコメントの概要】

1. 2007年度の教育環境改善報告

窓口対応など

- ・事務局自己点検評価委員会を組織し、組織的対応を図ったこと。
- ・「窓口対応スローガンの作成と推奨」「窓口優先キャンペーンの実施」「窓口業務内容の周知」「学生の要望受付システム」について議論し、一定の成果をあげたこと。
- ・その他(各部課室における各種取り組みの結果・成果等についてはホームページをご覧ください)。

教育施設

- ・天野貞祐記念館を建立し、教室ならびに教育支援環境(図書館、教育支援室、外国語教育研究所など)を整備したこと。
- ・1～5棟の机・椅子の不具合についても適宜速やかに修理等の対応を行い、夏季休業期間中にも一斉点検を行うなど、不具合のあったものは修理等の対応を行ったこと。
- ・グラウンドについて利用区分、時間帯、利用ルールなどを設定し、またグラウンド管理人を配置し、利用体制を整えたこと。

学生生活施設

- ・学生食堂についてICカード対応の食券機導入、弁当の販売、案内板設置等による導線の整備、カフェの設置、「サークル席」と称される占有に対する注意などにより混雑緩和、学生の分散化を図ったこと。また、委託業者を通じてメニューの多様化などに取り組んだこと。
- ・2008年3月に保健部室棟1階(旧保健センター)北側に音楽スタジオ(5室)と楽器庫を設置したこと。また、部室棟のトイレ改修工事等を実施したこと。
- ・学内の各種販売所(業者)に対する意見・苦情について、大学から販売所の管理責任者に対し申し入れを行い、先方より改善に取り組むとの回答を得たこと。

2. 2007年実施のアンケートに対するフィードバックコメント

窓口対応について

部課室ごとに差はあるものの、好評・不評双方の意見が寄せられています。その意見について考えてみると①「基本的態度に関すること」②「問答のやりとりに関すること」③「事務処理や手続の煩雑さに関すること」に分類できるかと思いますが、それぞれについて原因の分析を行い、改善の方策を検討したいと思います。

しかしその一方、学生の皆さんに理解願いたい点として、大学の窓口対応はカスタマーサービスと同義ではないということがあります。本学の窓口対応にはある程度の教育的・指導的要素が含まれているため

時には厳しいと受け取られる対応があり得ると思っておりますが、基本的には「挨拶」「丁寧」「正確」というスローガンを意識して対応に臨みたいと思っています。

案内・告知について

学内の各種案内の不備や不明確さを指摘する意見がいくつかありました。学生への情報提供については、獨協大学ニュースをはじめホームページや掲示板などをさらに有効活用し、改善を図りたいと思います。また、各部課室が発行する刊行物・広報物については、このアンケート結果などを基に毎年見直し作業を行っています。

業務取扱時間について

大学全体または各部課室の業務取扱時間に関する意見がありました。業務取扱時間は9時～17時(土曜日9時～12時)を基本としながら、ニーズ、有効性、コストなどを踏まえて一部時間を延長しています。現在、延長措置がとられていないところについては、そうした観点から実施が難しいとされているところですが、状況の変化等に応じて取り扱っていきたいと考えています。

教育施設・学生生活施設について

教育施設については天野貞祐記念館に対する多くの好評意見がある一方、1～5棟についての老朽化を指摘する意見が多くありました。これらについては昨年度の回答でも申し上げましたが、こうした点は早急に改善をしなければならぬと認識しており、その方法としてはまず、教室棟自体の建て替えを主に検討しています。また、アリーナやグラウンドについては適切な管理・運営をふまえた利用方法を提案し、周知を図っていきたいと考えています。それに伴い改善が必要とされる部分について検討の上、対応していきたいと考えています。その他、空調設備などについては快適さを考える一方、エネルギーの効率利用にも取り組んでいきたいと考えています。

学生生活施設については学生食堂の混雑緩和やメニューの改善を求める意見が多くありましたが、今後も引き続き採算費用や需要などを考慮しながら、どの程度の改善実施が可能であるかを模索していきたいと考えています。また、部室棟については建て替えなど抜本的改善の予定は現在のところ想定されていないため、今年度も補修等による対応が主になるかと思います。その他、タバコ・喫煙に関しては当面、受動喫煙による健康被害を防止する取り組みを行うことを予定し、プロムナードや駐輪場などについても点検および検討を行っていきたいと思います。また、学内の各種販売に対する意見についても、問題がある点は昨年度に引続き委託業者に改善を申し入れてまいります。

この記事に関する詳細は「自己点検・評価活動のページ」をご覧ください。 <http://www.dokkyo.ac.jp/jikotenken/index.htm>

※大学ニュース4月号にてお知らせしました「学生による授業改善のためのアンケート」結果(数値データのみ)と結果に対するフィードバックコメントは、現在、教務課、図書館、学生会にて閲覧することができます。閲覧の際は、お近くの職員までお知らせください。